

長田 和美 NAGATA Kazumi

研究分野：感性デザイン工学、視覚心理学、デザイン教育
キーワード：デザイン、感性評価



研究トピックス：

感性の可視化とデザインの活用

研究の要旨：

美しいデザインや、人の感覚や印象を数値化・可視化することに興味があります。美的感性（センス）を養うデザイン教育の実践とその検証や、感性データを活用したものづくりやコミュニティデザインに関する研究など、「感性を磨き、感性を測る」ことに取り組んでいます。

1. デザイン教育

誰でも楽しみながら感覚を磨くことができる子供向けの塗り絵ワークショップや、中学生向けデザイン講座を実施しました。また、幾何学図形を使った平面構成による教育効果を検証しています。



2. 感性評価とその応用

「人がどのように空間を捉えているのか」を把握するために、人が知覚する大きさを数値化して工学的に応用する研究や、伝統工芸が与える印象を数値化して新しい価値を創造する研究、アロマを使ったコミュニティデザインに関する研究などを行っています。

主な関連業績：

- Shuto Suzuki, Atsushi Osa, Masaru Koike, Kazumi Nagata, "Preferred aspect ratio of panels with a traditional design pattern of cypress bark roofing", Proceedings of the 11th International Symposium on Affective Science and Engineering Online Academic Symposium (ISASE) 2025.
- Kazumi Nagata, Atsushi Osa, Makoto Ichikawa, Takeshi Kinoshita, Hidetoshi Miike, "Magnification rate of objects in a perspective image to fit to our perception", Japanese Psychological Research, Vol.50, No.3, pp.117-127, 2008.

教員紹介へのリンク

教員データベースへのリンク